

浜松市立笠井小学校 活動報告

1 活動内容

第6学年 Lesson 5 Let's go to Italy. 「行きたい国を紹介しよう」 2/4

(1) 導入

- ① JTE、ALT と挨拶をする。
 - ・ Good! Wonderful! Are you OK? など、必ずリアクションをする。
- ② Hello song を歌う。
 - ・ Big voice Big action で歌うように声を掛ける。
- ③ ウォームアップインタビューをする。
 - ・ 5人の友達に挨拶し、必ずリアクションをする。

(2) 活動

- ① 国名の復習をする。
 - ・ JTE が国旗カードを示し、ALT が発音する。ALT に続いて児童が発音する。
 - ・ リズムに乗って、だんだんスピードを上げていく。
- ② どの国のなんという世界遺産かを聞き取る。
 - ・ JTE が世界遺産の写真を示し、ALT が発音する。
- ③ 行きたい国を尋ね、答える表現に慣れ親しむ。
 - ・ JTE と ALT でデモンストレーションをする。

A: Where do you want to go?

B: I want to go to ○○.(国名)

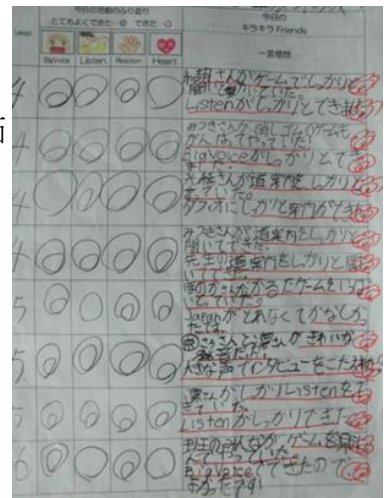
I want to see ○○.(世界遺産)

- ・ 児童と JTE、児童と ALT で会話する。
- ・ A グループ、B グループに分かれ、行きたい国を尋ね、答える表現に慣れ親しむ。

- ④ 友達に「どの国に行きたいか」をインタビューする。
 - ・ 挨拶の後じゃんけんをし、勝ったら尋ね、負けたら答える。
 - ・ 友達の名前と行きたい国を Hi, friends に記入する。
 - ・ なるべく多くの友達にインタビューするように声を掛ける。

(3) 振り返り・まとめ

- ① 本時の振り返りを we can card に記入する。
 - ・ Big Voice /Listen/Reaction/Heart の4観点の自己評価をし、頑張っていた友達と自分の振り返りを文章で書く。
- ② 振り返りを発表する。
- ③ 挨拶をする。



2 成果と課題

- いろいろな国や世界遺産に興味を持ち、行きたい国を尋ねたり答えたりする活動に一生懸命に取り組む姿が見られた。
- リアクションをすることを毎時間積み重ねてきたため、相手の言葉に対して反応できる児童が増えてきた。
- 一問一答で終わらないために、導入で 30 秒隣の児童と話し続けるなどの活動を取り入れ、積極的に英語で会話しようとする児童を育てていきたい。